

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [49053] HTLV-1/ATL HAS-Flow解析

受託開始日

- 令和3年1月4日(月)



HTLV-1/ATL HAS-Flow解析

ATL (Adult T-cell Leukemia-Lymphoma) はHTLV-1 (Human T-cell Leukemia Virus Type1) の感染によって引き起こされる造血器悪性腫瘍であり、主要な感染経路は母子感染、特に乳児期の母乳による授乳が多いとされています。

HTLV-1に感染するとT細胞内にプロウイルスとして存在し、自然に消失することはなく終生感染が持続しますが、ほとんどが無症候性キャリアとして推移し、数十年の時を経てその約5%がATLを発症します。ATLを発症すると高度の免疫不全を引き起こし、さまざまな日和見感染症を合併することが知られています。

平成20年の厚生労働省の調査による推定キャリア数は約108万人とされており、以前より西南日本に感染者の偏在が認められています。

本検査はHTLV-1 Analysis System (HAS) といわれる、フローサイトメトリーを用いたゲーティング法によりHTLV-1感染細胞を解析 (HAS-Flow解析) するものです。HTLV-1感染からATL発症に至るまでの潜伏期間は非常に長いため、その間の病態把握や発症予測が重要となります。

本HAS-Flow解析では、無症候性キャリアからくすぶり型/慢性型ATL (indolent ATL) への病態の進行に伴うCD7の発現の低下、CADM1 (cell adhesion molecule 1) の発現の増加を評価することが可能であり、病態・進展予測に有用とされています。

検査要項

項目コード	49053
検査項目名	HTLV-1/ATL HAS-Flow解析 ^{*1,2,3}
検体量	ヘパリン加血液 2mL ^{*4} [容器番号：10番] または EDTA加血液 2mL [容器番号：13番]
保存方法	常温
検査方法	フローサイトメトリー法
基準値	(設定せず)
報告形態	別紙報告書
所要日数	2~3日
検査実施料	未収載
備考	*1：受付曜日：月~金曜日(休祝日とその前日は不可) *2：検体採取後24時間以内に当社検査室に搬入されるようお願いいたします。 *3：ご依頼に際しては、『細胞性免疫検査依頼書』をご利用ください。 *4：骨髄液 1mLでも検査可 [容器番号：22番]

参考文献

- 内丸薫, 臨床病理 **66** (8) : 867-875, 2018.
S Kobayashi, K Uchimaru et al. : Clin Cancer Res. **20** (11) : 2851-2861, 2014.
S Kobayashi, K Uchimaru et al. : Cancer Sci. **106** (5) : 598-603, 2015.
J Makiyama, S Kobayashi, K Uchimaru, et al. : Cancer Science. **110** : 3746-3753, 2019.